

種名	ヤ ブ デ マ リ <u>Viburnum plicatum</u> 					
	分類	被子植物双子葉合弁花類スミカズラ科	俗称		生活型	落葉小高木
分布	本州(関東地方以西)、四国、九州、朝鮮南部、中国、台湾に分布する。					
形態	若枝は褐色で星状毛が密生し、古い枝は灰黒色になって皮目が散生する。髓は白色。葉は対生し、長さ5～16 cmの倒卵形または長楕円形。先端は急に尖り、基部は円形またはくさび形で、ふちに鈍鋸歯がある。					
類似種						
生息場所	山谷の谷沿いや川沿いに多く生え、高さ2～6mになる。					
繁殖	花期は5～6月。枝先に散形花序をだして、直径5～6 mmの小さな両性花をつけ、ふちを直径3～4 cmの白い装飾花がとりまく。核果は長さ約6 mmのやや扁平な楕円形で、8月に赤色から黒色に熟す。					
他生物との関係						
配慮のポイント						
引用文献：『山溪カラー名鑑 日本の樹木』を改変						